



昭和34年4月18日制定

あさひ

学校便り 1月号

平成27年1月7日

横浜市立旭小学校

日本の伝統行事を伝承してみませんか

校長 伊藤 博夫

明けまして おめでとうございます。

皆様にはご家族様お揃いにて希望に満ちた新年をお迎えのことと存じます。

松飾りも払われ、お正月気分もそろそろ消えかかろうとしています。児童は楽しかった冬休みの思い出を胸に、学校生活に期待を抱いて登校してきてくれました。旭小学校の児童の新しい充実の一年を心から願いたいと思います。

一月十一日は「鏡開き」の日と呼ばれます。ご承知のように、鏡開きというのは正月に神前等にお供えた鏡餅を下げ、雑煮やお汁粉にさせていただく行事です。柔道のメッカである講道館の催しが、特に有名です。

「鏡開き」は刃物で餅を切ることを嫌って、手で打ち砕いたと言われます。縁起を担いで「割る」とか「切る」と言わずに「開く」と言っています。また、鏡は神聖で神秘的なものとされ、鏡が割れるということは不吉の前兆と言われていました。そのことから、「割る」と言わずに「開く」と言ったものと考えられます。また、鏡をまたいではならないとしつけられたものです。「鏡は友人でも忠告しないことを忠告してくれる」というイギリスの諺があります。鏡はその人の健康状態まで映し出してくれるものです。常に鏡を見て自分の姿勢や心を正すようにしたいものです。

年の始め、日本の国には様々な行事が繰り広げられます。松飾り、初荷、寒稽古、出初め式、七草・・・と、どれ一つとっても、それぞれにいわれがあり、私たちに古来の教えを残してくれているように思えます。しかし、私たち大人がそれらを伝承していかなければ、年の流れと共に忘れ去られてしまう危険も多分にはらんでいるように思われます。地域行事の中や各ご家庭の団欒の中で、今に伝わる習わしなどを話し合いながら、日本の良き伝統を児童の心の中に残していけたらと密かに考えています。

本校では、低学年を中心に「昔遊び」の学習を行います。また、中学年でも「昔の生活」について学びます。これらの機会を捉えて『温故知新』（昔のことを究める、また、古い事柄を復習しながら、新しい知識や道理を見つけること）ということで、歴史を伝え未来を見つめさせていきたいと思っております。

昨年末には、インフルエンザが流行し学級閉鎖を余儀なくされる事態となりました。今年は保護者の皆様のご協力により、児童が健康で明るい学校生活を送れるようにしていければと考えております。

旭小学校の児童の健やかな成長のために、本年も皆様のお力添えを宜しくお願い申し上げます。

1月の取組目標

生活目標

礼儀正しく使用

保健目標

姿勢を正しくしよう

清掃目標

整理整頓をして気持ちよい教室にしよう

給食目標

感謝の気持ちをもって食事をしよう

